

教科名		【教科:音楽(一般)】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		教育出版	教育芸術社
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・各学年で歌唱の技能に関して、基礎的な内容を掲載して無理なく技能を身に付けるための工夫があり、「学びのユニット」において、学びのねらいやどのような活動なのかが分かりやすくまとめられている。	・各学年で歌唱の技能に関して基礎的な内容を掲載して無理なく技能を身に付けるための工夫があり、学習のポイントやヒント、話し合いの例等を参考にし、主体的に学ぶことができる。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・歌唱教材の一部や鑑賞教材には、「話し合おう」という自分の考えをまとめたり交流したりできるワークシートがあり、また、創作には具体的な手順が示され、生徒の思考をどのように生かすのかが分かるように工夫されている。 ・「何が同じで、何が違う？」のページでは、音楽文化の多様性に気付かせることができる。	・歌唱教材と鑑賞教材の「深めよう！音楽」というコーナーや創作では、具体的な手順に沿って学習を進めることができるように工夫されている。 ・巻頭や、「音楽って何だろう」のページ等で、音楽的な見方・考え方やより幅広い価値観を養うことができる。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・昔からの名曲以外にも生徒が知っている現代映画の主題歌を掲載したり、コンピュータと音楽の関わりについて記述したりするなど、時代に即したものになっている。	・昔から伝わっている名曲以外にも現代映画の主題歌など生徒になじみがある作品を多く掲載し、生徒が興味・関心をもてるようにしている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	・それぞれの国や地域の音楽文化を尊重し、平和や公正を訴える歌詞がある教材を採用している。	・それぞれの国や地域の音楽文化を尊重して編集しており、特に第2・3学年の下巻では「生活や社会の中の音楽」で、音楽教育とSDGsとの関わりについて具体的に取り上げている。
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・「楽典」が折込みになっており、必要なときに参照しながら学習することができる。 ・巻頭に共通教材や作曲者に関して理解を深める資料があり、音楽を愛好したり音楽に親しみ尊重したりする心情を育むことができるようになっている。	・「音楽の約束」のページで学習する内容の楽典がまとめられており、必要なときに自分で調べて学習することができる。 ・巻頭や、「音楽って何だろう」のページ等で、音楽的な見方・考え方やより幅広い価値観を養うことができる。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・伝統文化や郷土を大切にす視点をもち、多様な考え方や価値観を尊重しながら学ぶことができる。	・伝統文化や郷土を大切にす視点をもち、多様な考え方や価値観を尊重しながら学ぶことができる。